

2/25 [水]

筑紫野市「ボランティアバンクの会」の方々が地域づくり協議会を視察

筑紫野市から「筑紫野市ボランティアバンクの会」の方々17名が、視察研修に訪れました。

「筑紫野市ボランティアバンクの会」は筑紫野市が推進しているボランティア派遣事業の中の生涯学習の分野を担っている団体で、登録者は、約1,300人。登録者にボランティア活動の紹介をすることが主な活動で、このほか筑紫野市の文化祭やお祭りなどにも参加しています。今回は、コミュニティ計画の策定から現在の地域づくり活動について、地域づくり活動団体の生の声を聞きながら学ぶことを目的に訪問されました。

午前中は、上毛町の概要と上毛町コミュニティ計画の策定から地域づくり活動事業の始まった流れについて、企画情報課担当者が行いました。

午後からは、はじめに会長の山下朗さんが協議会の「住んで良かったと思える上毛町を町民の力で次世代に引き継ごう」という基本理念に基づく組織の目標や協議会での取り組み内容などについて説明しました。特に「協議会ができたことで、若者たちとの交流の場が増え、たくさん意見を出し合い、色々なイベントに共に参加するようになりました。そうする

ことで、若者たちの考え方や見方が変わり、上毛町のために皆一緒になって動きはじめていること」を強調しました。また、事務局の村上さんから協議会の組織構成や財政運営などについて、説明がありました。

続いて、地域づくり協議会の役員の方が、地域づくり活動団体の活動内容について紹介しました。副会長の福本さんからは、松尾山修験道回峰行実行委員会や上毛コミュニティ新米クラブの活動について、地域づくり広報誌「いぶき」を使い説明しました。安心安全部会長の安元さんからは、安雲西交流会の活動の経緯や趣旨などを模造紙を使って説明しました。交流活動部会長の貴村さんからは、築上東Music-Lovers'の活動が、地域の方々の協力によって開催される音楽活動を通じて、地域交流の場が創出されていることを紹介しました。情報発信部会長の今瀬さんからは、上毛ファンクラブの活動について説明を行いました。

「筑紫野市ボランティアバンクの会」からは、「活動に携わってきた方々の情熱や意気込みが伝わってきた」や「小さな町であるにもかかわらず、たくさんの方々の事業を展開し、エネルギーを感じた」などの感想をいただきました。



11/9 [日] 草刈り

会員全員で行う草刈り作業

今年もいぶきの里周辺の草刈り作業を地域づくり協議会で行いました。道路沿線や土手の草刈りは、美観や安全面の理由で毎年行っています。雑草が覆いかぶさって道路にせり出せば見通しが悪くなったり、そういうとこに限ってゴミが多く捨てられたりします。

この日は草刈機や鎌を持った30名を超える会員が、大池公園ふるさと手づくり村前のステージに集合し、部会ごとにグループになって行いました。

これからも訪れた方に心地良い印象を持ってもらえるように、会員の横のつながりや親睦を深めながら活動を続けていきます。



12/18 [木] 地域づくり協議会交流会

団体間の親睦を深め、大きく成長

地域づくり協議会交流会が「いぶきの里」で開催され、協議会役員をはじめ、地域づくり活動団体の代表者など、20名が参加しました。

まず、山下会長から「地域づくり活動団体間の横の繋がりを広げ、今後も楽しく活動しましょう」と挨拶がありました。福本副会長の乾杯の挨拶の後、団体の枠を超えて情報交換を行い、今後の活動について、語り合い大変有意義な会となりました。

これからも協議会メンバー同志が連携し、協力しながら大きく成長できるように、交流会を開催して、親睦を深めていきたいです。



住んで良かったと思える上毛町を住民の力で次世代に引き継ごう
上毛町地域づくり協議会だより